

1 日 時 令和3年3月9日(火) 10:00~12:00

2 場 所 北海道旭川盲学校 フレンドルーム

### 3 日程及び内容

- 10:00 校長挨拶  
日程説明・出席者紹介
- 10:05 説明1: 令和2年度の学校経営について(校長)
- 10:30 説明2: 令和2年度の教育活動について(教頭)
- 11:20 授業参観
- 11:40 協議
- 11:55 校長挨拶

### 4 学校評議員ご出席者

- 宮本 昌 恵 様 北海道立旭川子ども総合療育センター副院長
- 赤坂 秀彦 様 旭川児童相談所長 ※ご公務により欠席
- 宮崎 伸一 様 旭川点字図書館長
- 紺屋 佳子 様 北海道旭川盲学校PTA会長
- 加藤 弘 様 旭川盲人福祉協会副会長

### 5 学校職員出席者

- 坂下 浩 寿 校長
- 福島 由紀子 教頭
- 藤川 直子 事務長

### 6 記録

#### (1) 説明

説明1: 令和2年度の学校経営について(校長)

校長: 別紙資料(「令和2年度第3回学校評議員会説明資料 令和2(2020)年度「旭川盲学校の教育」)に沿って、令和2年度学校経営について説明。

説明2: 令和2年度の教育活動について(教頭)

教頭: パワーポイント資料に沿って、令和2年度教育活動について説明。

#### (2) 授業参観

- ・幼稚部(自立活動)→中学部(中2 理科)→中学部(中2 理科)→中学部(中1 英語)→小学部(小1 自立活動)→小学部(小5 自立活動)→小学部(小6 算数)→小学部(小6 算数)の順に見学
- ※別紙「令和2年度 第3回学校評議員会 授業参観内容」参照

#### (3) 協議: 学校評議員よりご意見・感想等

北海道立旭川子ども総合療育センター 副院長 宮本 昌恵 様

- ・説明や授業参観をとおして、感染対策を実施した上で、工夫を重ねながら教育活動を行っていることがわかった。
- ・Zoom を使ってオンラインで熊本盲学校と交流学习を行ったことは、大変有意義に感じた。
- ・オンラインなどさまざまな方法を使いながら、これからも盲学校のことを世の中に発信してほしい。

旭川点字図書館長 宮崎 伸一 様

- ・教員の勤務状況はどのようになっているのか、一部の教員に業務の負担がかかっているのかどうか気になっている。
- まだ、時間外勤務の解消には至っていない。今年度から出退勤管理システムが導入され客観的に教員の勤務時間の把握を行っている。時間外勤務の解消に向けた業務改善や働き方改革を一層進めることが必要だと考えている。また、教員同士が連帯感を持って業務できるよう、互いの教育観等を交えながら協働して業務を推進できる体制構築に向けた、校内の雰囲気づくりや学校の風土を醸成していくことが大切だと考えている。

旭川盲学校PTA会長 紺屋 佳子 様

- ・コロナ禍において子どもたちのコミュニケーション不足を感じてはいるが、我が子も心身共に体調を大きく崩すことなく、できる範囲のことを楽しみながら学習を行うことができた一年だった。先生方のご尽力に感謝している。
- ・点字指導など、全盲の子どもへの指導ができる先生方が減ってきているのではないかと心配している。同時に、保護者も子どもの家庭学習を見る際などに点字がわかることが必要だと思っている。次年度は、学校の先生方と一緒にPTA研修等をとおして、共に点字等を身に付けたい。

旭川盲人福祉協会 副会長 加藤 弘 様

- ・自身が在籍していた頃とは違い、在籍数の減少のため少人数化で個別授業が中心となり、現在の盲学校で子どもたち同士が競争することがない環境になったことを感じている。交流学习などをとおしてコミュニケーション力の向上を図り、盲学校の後輩たちが、将来社会に出たときによりよく生きる力を身に付けてほしいと願っている。

#### (4) 校長挨拶

- ・各評議員の方への謝辞
- ・本校が抱えている課題における改善の手立てを考えることができた。コロナ禍であっても子どもたちの学びを止めず、より一層、子ども同士の関わりを持たせていきたい。お一人お一人から頂戴したご意見や感想を大切に、今後の学校経営や子供たちへの教育に反映できるよう努めたい。引き続き、変わらぬご支援をお願いしたい。
- ・次年度の学校評議員委員会については、4月以降に年間予定をご案内する。(年3回、木曜日の午前中に計画する予定。)